

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第7回 理事会

日 時：2014年 7月 23日（水）19：00～21：45

場 所：コンセーレ バンケットホール

出席者：

- (理 事 長) : 村上(敬称省略 以下同)
(直 前 理 事 長) :
(顧 問) :
(副 理 事 長) : 朝田、木村(英)、福田(之)、須山
(専 務 理 事) : 中島(崇)
(監 事) : 黒川、澤畑、飯野
(担 当 常 任 理 事) : 林、金
(全国大会招致会議議長) : 羽石
(会員拡大会議議長) :
(協働連携特別会議議長) : 篠崎(達)
(法令会計審査会議議長) : 廣田
(事 務 局 長) : 橋本
(委 員 長) : 飯沼、新妻、豊崎、中島(晴)、木村(武)、相馬
: 鈴木(善)
(副 議 長) : 宮林、渡邊、高松、山田、福田(弘)、安野
(理 事) : 横島、梅田、安野

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. JCIクリード唱和 <中島(一)>
3. JCIミッション並びにJCIビジョン唱和 <木村(武)>
4. JC宣言朗読並びに綱領唱和 <鈴木(善)>
5. 関東地区宣言唱和 <相馬>

6. 出席者の確認 <橋本>

出席理事名 28 / 33 名

7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>

8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>

9. 議題並びに資料の確認 <橋本>

10. 理事長挨拶 <村上>

皆さんこんばんは、まずは大きな声を出してみたのですが、今日理事会の会場に入って来て皆さんの顔をみてなんか元気がないなという風に思いました。率直な感想なのですが、私もいま相馬委員長の生足が気になっているところではありますけれども、疲れているのですか皆さんという感じがするのです。7月J Cは忙しいですから、皆さん半年以上、真摯に今年の運動に向き合っていて、その影響で疲れているのかも知れないのですが、日々睡眠をとったり、仕事もお忙しいとは思いますが、リラックスするなにか方法をそれぞれみつけていただきたいなと思いました。実は最近私は携帯のゲームにはまっています。これにはきっかけがあるのですが、娘が携帯のアプリのゲームをやっていて、私は元々ゲームとかはしないのですが、娘に誘われてやってみたらこれがおもしろいのです。いろんな仕掛けがあり、これは経済人としても非常に勉強になると思うのですが、次から次に課金をしたくなるようなシステムがあり、次から次ぎへとワクワクするような仕掛けあるのです。これは非常に面白いと思って、日々色々なニュースであったりだとか新しい事に目を向けるようにはしているのですが、少しいろんな世界、自分が食わず嫌いであったり、やっていなかった事に挑戦してみるのも新しい世界がみえてきたり、自分の中、自分の仕事、そして自分の社会の貢献に大きな可能性をみいだせる可能性があるなという風に最近思っております。

そして本日、宮まつりの開催委員会、臨時総会がありました。鈴木委員長をはじめ宮まつり委員会の皆様に本当にお世話になりました。臨時総会が無事終わりました。今年の宮まつりの内容が無事に審議可決をされました。そして今日無事成功をお祈りしてきたところであります。また木村委員長におかれましては明日からハワイの方にまた行っていただけるということで、姉妹J Cとの交流、あちらの事業に参加をするということで、梅田副委員長も行かれると聞いておりますけれども、是非また交流をしっかりとさせていただきたいというふうに思います。宮まつりにはホノルルチャイニーズのケン理事長もいらっしゃるといふことでありますので、また姉妹J Cとして貴重な経験をできるのかなというふうに思います。私も日中ケン理事長とずっとメールのやり取りをされていて木村委員長を宜しくと、お話をしておきましたので、是非あちらでも有意義に過ごしていただきたい

というふうに思います。

7月には例会として関東地区の後藤特別顧問に来ていただきました。それと天皇祭、サマコンに本当参加したくてもお役目ということで天皇祭に参加していただいたメンバーの方も非常に多かったところでもあります。一日目残念ながら雨のため、中止になったということですがけれども本当にありがとうございました。保存会の構成団体である宇都宮JCとしての担いの部分をしっかり努めて来ていただいた事に感謝をしております。そしてサマーコンファレンス、日本JCの運動の最大の発信の場というところで、非常に今年のサマーコンファレンスは例年と違った設えが多くありました。会場もパシフィコ以外のところに分散をして、かなり多くの市民を巻き込んだ今年のサマーコンファレンスでありました。最終日のメインフォーラムでは阿部首相が来まして、JCのメンバーに対してメッセージを数多く伝えていただいたわけであります。ニュースとかで阿部首相の話はよく聞くところではありますけれども、やはり本人の口から生の声で聞くと自分の中に落ちてくる物も違いましたし、いま国がどうなっているのか、国際状況がどうなっているのかということもしっかりと私も勉強ができたよい機会になりました。また出向者の活躍も非常に目立つところでありました。今年は山本顧問が関東地区の会長として出向しているということで、関東地区で開催されたサマーコンファレンスですから関東地区の担当常任理事という立場のもと非常にお忙しくすごされていたわけではありますけれども、関東地区協議会に出向しているメンバー、須山副理事長をはじめ会員会議所で次年度の会長の承認があったのです。非常に緊張する場があったというふうに思うわけでありますけれども、しっかりとした会議の設営をしていただいた事に関しまして非常に誇らしく思いました。ありがとうございました。そして日本JCの次年度の会頭が理事会の場で発表されました。これは総務委員会副委員長として梅田君に出向をいただいているわけでありますけれども、いつもながらももちろん完璧な理事会の設営がされていて見事な理事会でありました。来年会頭になれる予定の金沢JCの柴田君でありますけれども、2011年に私が日本の議長として出向した時に、共に机を並べた同期の委員長であります。昨年も国際グループと一緒に活動をさせていただき、非常にJCの中でも本当に大親友の一人であります。彼の人間性は実は非常にJCらしくないのです。覚えているのが元々はじめて知り合った時に『僕JC嫌いだから』というのが口癖だったのです。JCの常識というのは非常識じゃないかということをつつも常日頃からいっていた人です。そうゆう意味では来年の日本JCは本当の意味での公益社団法人としての可能性が広がる年になるような予感がしております。これは須山次年度をはじめ、来年もしっかり連動したJC運動をしていただければ、きっと市民のための運動も広がっていくのではないかなというふうに思います。この7月、非常に勉強の機会が多いわけでありますけれども、8月28日には日本JCの小畑直前会頭に来ていただく事になりました。正式に専務のほうからアナウンスがあると思っておりますけれども、対内の研修としてJCの価値についてお話をいただくような形になっておりますので、是非8月28日は空けておいていただいて、JCの価値の部分には是非触れていただ

きたいというふうに思います。7月は勉強をする機会が非常に多いということは、あるいみ力を蓄える時期でもあるというふうに思います。宮まつりも近づいてまいりましたし、そして9月、10月、11月と大きな事業、公益事業ばかりであります。しっかりと自分の中でいろんな事を取り入れて8月以降の事業にフィードバックしていただきたいというふうに思うわけであります。本格的に8月以降になりますと、次年度の動きも非常に活発になってくると思います。もちろん今年があつての来年でありますけれども、だからといって来年の準備をおろそかにするという事も私も賛成はしませんので、是非次年度の準備をおもいきりしていただきたいというふうに思いますし、時間の無い中でJ Cの活動、後半戦ラップしていきますから、どんどんどんどん自分が研ぎすまされていくのだと思います。1年で一番忙しい時期になってくると思いますけれども、時間の使い方であったり、会議、打ち合わせの時間、かぎられた中でやるからこそ集中して実りのある物になるというのはよくありますので、是非前向きにとらえていただいてしっかりとした運動を今年、そして来年作っていただきたいというふうに思います。今日、議題は少ないわけではありますけれども、先月もそうでありましたがいろんな意見が出てくるというふうに思うのです。是非意見に対して真摯に受けとめていただいて、市民のために広がっていく運動が構築できるように、そんな理事会にしていきたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

1 1 . 直前理事長挨拶

欠席のため割愛

1 2 . 役員報告

<飯沼> 第110回通常総会の案内です。7月28日(月)17時半より大谷資料館にて17時半から構内解放、18時半から受付開始、19時開会となっております。80%の出席率を目指しておりますが、現在事前の出席確認で75%です。あと10名程度、欠席から出席に転じる人が必要になってきますので、是非理事構成メンバーの皆様においては出席に転じさせていただけるようなアプローチをお願い申し上げまして、厳正な総会を開会したいと思っております。

<鈴木(善)>宮まつり委員会からのお知らせです。7月29日(火)コンセーレにて第4回出向者連絡会議を開催いたします。警察官系、消防関係、ボランティアの方、

対外の方等々多数おみえになられますので、できるかぎりのご出席宜しくお願ひします。その時に8月2日(土)のお弁当の人数を確定させていただきたいと思ひますので、理事構成メンバー、委員長、副委員長におかれましては委員会で取り纏めをお願ひします。一個1100円となりますので宜しくお願ひします。

<中島(崇)> 5点ほど、まず1点目、事務局の南側の駐車券、パーキング券が今年当初16枚、宇都宮JCとして会館からお預かりしておりましたが、現状8枚しかありません。ルールとして持ち出してはいけないということを再度お伝えするとともに、持ち出しているメンバーの方がいたら速やかにお返しく下さい。2点目、7月28日(月)事務局にて9時から17時まで公益社団法人となって初の栃木県の監査が入ります。こちら平成24年度の事業の監査となります。事業と会計面でしっかりと監査をやっていく予定となっております。特段なにか特別な理由がないかぎり28日月曜日は立ち入り禁止とさせていただきます。当日なにかある場合は私にご連絡ください。続いて7月30日(水)丸治にて栃木ブロックの研修事業があります。入会年度の浅いメンバーを対象にした研修事業です。講師は真岡JCの塚本先輩です。研修に関する若手メンバーを鼓舞するようなお話をいただけるということで案内をいただいております。宇都宮JCからは青木一憲君が福委員長として出向している委員会になりますので、お時間がある方は是非ご出席お願ひします。懇親会もご出席いただけたらなと思ひます。それと同日に、私のほうで出向している栃木SCの方でパブリックビューイングがオリオンスクエアで行われます。LOMの事業でも栃木SCさんとのコラボレーションや協力、協賛をいただいております。7時からブロック事業が入っておりますが、こちらは夕方5時からなので、顔を出せる方は是非観ていただきたいと思ひます。5時からのタイミングで行けば木村副理事長のホイホイポーズもみられますので、応援も兼ねて行っていただければというふうに思ひます。4点目、8月23日(土)9時から交流を続けさせていただいておりますだてJCさんの年間の最大の事業である『伊達にこいこいプロジェクト』というものがござります。終日の事業ですが、内容といたしましては、子どもたちが描いた7000匹の鯉のぼりをあげ、ギネスに挑戦しようという事業内容となっております。宇都宮JCから少しでも人的支援を行いたいと考えております。こちらに関してはLOMバスをチャーターして行けるような手配も計画しておりますので、こちらもお出欠のヒヤリングを取らせていただきたいと思います。それと先ほど理事長からもありましたが、8月28日(木)小畑直前会頭におこしいたゞき、講演をいただくかたちとなっております。内容、会場、詳細については

改めてご案内を差し上げます。是非ご参加お願いいたします。最後にまた講演会のお話になりますが、9月16日(火)に2011年の会頭でございます福井先輩が京都JCの方からおこしになり、講演をいただくこととなっております。続いて10月の21日(火)に、こちらも歴代会頭でございます小田先輩をお迎えしての講演会を行います。日本JC歴代会頭のご講演を8月、9月、10月と三ヶ月連続で開催させていただきますので、是非ご出席のほど宜しくお願いいたします。

<村上> 補足ですが、8月の小畑直前会頭の講演は対内のメンバーの研修という位置づけをさせていただきたいと思っております。9月の福井先輩はお茶の伊右衛門をつくっている福寿園の社長でおられる方です。太城議長と擦り合わせしておりますが、拡大会議に担当していただき、公開型のビジネス研修ということで宇都宮市民を広く募ってビジターを集めるというのが本当の狙いがありますので、是非お声がけをしていただきたいというふうに思います。そして10月の小田先輩ですが、日本一のホテルとして名高い石川県の加賀屋ホテルの社長であります。おもてなしの心ということで、これもビジネス研修となります。ビジターが真の目的でありますので、拡大を見据えた公開事業をして行きたいと思っております。青年経済人もそうですが、主婦であったり普通のサラリーマンも知っている企業ですので多くの市民の人に今からでも声をかけていただければと思います。

<中島(崇)> 13番の審議事項ですが、こちら私ども事務方の確認不足がありまして、1月の総会で承認をいただきましたが変更がございます。来週の総会にて修正の予算の承認をいただいた後、大谷資料館で臨時の理事会を開催させていただきます。よってこちらの宮まつりの審議事項1番に関しては協議事項の1番に修正をさせていただきたいと思っております。

13. 協議事項

協-01 8月例会第39回ふるさとみや祭り 開催計画並びに予算(案)承認の件

協議資料に基づき、鈴木委員長より上程文の読み上げ

<中島(崇)> すでに出向者会議が3回終わっており、残り1回となります。宇都宮JCとしてしっかりとした審議に向かうためにも協議をいただければと思います。

<村上> 本当に間近になってまいりました。色々準備が忙しいかと思いますが宜しく
お願いします。

協-02 10月例会心のふれあい事業 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、木村委員長より上程文の読み上げ

<中島(崇)> 修正でいっていただいた点は次回までには議案書の修正お願いいたします。
それと審議対象資料と参考資料が添付されていないものがありますので、必
ず添付するようにしてください。それとだてJ Cさんと宇都宮J Cで共同で
やっていく部分が出てくるかと思いますが、だてJ Cさんとの事業の進捗状
況は今どんな状況なのか教えていただけますか。

<木村(武)> だてJ Cさんと我々宇都宮J Cで伊達子どもフィスティバルという物を共同
で開催するかたちとなっております。今詳しく載せられていないのがアトラ
クションブースです。アトラクションブースの内容についてはだてJ Cさん
のほうで担当し、構築してもらっているのですが、そちらの方少し遅れてお
りでき上がっていない状態なので、でき次第載せるようにいたします。内容と
しては伊達の七つの町の郷土ゲームなど、様々な町の特徴を生かした七つの
ブースを開催する予定です。宇都宮J Cとして、地域交流委員会の方でメイ
ンステージを作っていくという風に分けた理由としては、少し遠方からとい
うところと、はじめて外のLOMと一緒に共同で事業を作るうえで、最初は
全部を一緒に作ろうと思ったのですが、スピードの差が出てきてしまい分け
るかたちで今進めています。意見と対応でもだてJ Cの方から資料はできあ
がり次第添付致しますということが多いのですが、こちらの方は昨日の時点
で少しずつあがって来ていますので、来月の正副までには全部添付しみられ
るようにします。

<福田(弘)> J Cさんとの共同でという所で、こちらから子どもたちを連れて行くとい
うのを前に伺っていたと思うのですが、それに関して議案書上でわかる点が把
握しきれていないところがあるのでご説明いただければと思います。

<木村(武)> こちらは宇都宮J Cのホームページを使い、参加の方を促して行きます。

<福田(弘)>だて J C さんの方で募集でなく、宇都宮で募集ということでしたら、もう少し議案に反映させていただければわかりやすいかと思えます。

<宮林> 事業目的の対外のところになります、目的の一つと致しまして『子どもたちに、安心して屋外での活動ができると認知してもらおう』とありますが、具体的にこれはどのような事業にしていこうとお考えですか、質問です。

<木村(武)>地域交流委員会のほうで調べた結果、伊達市の方では今まで過去に一度もヒーローが来たことがなく、国見の町でヒーローが一度だけ来たことがあるみたいなのですが、そこで6万人の町から8000人という来場者を記録したという話があります。ということでヒーローショーを行い、子どもたちが屋外にまず出るきっかけを作り、それで屋外で自分たちの地域を保護者とともによくしていくというのが、自分の町大好きというプログラムです。そちらで屋外の方に出して楽しさもその日の内に味わっていただくといったものを考えています。あとだて J C の方で今作っていただいているアトラクションブースというものが、全て体を動かすような物になっておりますので、こちらの方でも体を使い遊んでもらうといった設えを考えております。

<山田> 先ほどの福田副議長からの質問で、宇都宮の方からも子どもたちを参加させることがあるかという所で、宇都宮の市民を現地の方に引率して子どもたちを連れて行く場合になったら、もし可能でしたら予算の中で事業保険、子どもの保険をみていただいたほうがよいのかなと思うのと、保護者に対する同意書かなにかを審議資料の中に付けていただきたいと思います。

<木村(武)>同意書の方は持ち帰らせていただきます。保険の予算の方もだて J C さんから色々話は出ていまして、参加する方の保険というものは現地であるだて J C さんの方で纏めていただくかたちになると思います。

<山田> 保険の種類によっては当日その場所で何か起きた時は対応してくれる保険もあると思いますが、その道中は旅行保険や移動保険になるらしいと聞いたことがあったので、もし移動が発生する場合には保険の内容もご確認いただければと思います。それと質問ですが、事業概要2番の実施場所・会場の一番下に、観光客の人数は現在98.6%に減少しているとありますが、これはいつの時点と比較して96.8%減少しているのかお聞かせください。相当な減少率だと思うのでご説明ください。

<木村(武)>こちら2010年度から2011年度を比較した数値になっております。現在回復はしてきておりますが、それでもまだ4万人ぐらい来ていたのが7000人ぐらいの観光客となっております。こちらの数値は2011年度の数値とさせていただきます。

<中島(崇)>できればその辺の表現を議案の中で、現状等々載せてください。

<木村(武)>参考資料の24番、霊山こどもの村調査、だて地域施設入園者数の方で、21年度から25年度までの行政の方からいただいた資料を添付してあります。

<山田> 何年度と何年度を比較して98.6%減っているのでしょうか。

<木村(武)>98.6%減は伊達J Cの方から聞いた数字だったのですが、訂正しておきます。

<中島(崇)>確認をいただき、グラフとかにするとわかりやすい資料だと思います。

<林> 自分の町大好きのことので質問なのですが、こちらの中身で何をやるのかが一番この議案の中で大切なポイントになってくると思うのです。CとDが打ち合わせ中ということですが、具体的にどういった打ち合わせをされているか聞かせてください。

<木村(武)>AとBの方は了解を施設からいただいております。CとDの方は、一つは県内の電車なのですが、電車の錆を落としペンキで塗ってこうという内容となっております。あと柵が壊れてないところがあり、柵だと子どもが作れないので、アジサイなどを使って子どもたちが危ない所に行かないような柵を作るというのも提案いただいております。

<福田(弘)>参考資料の相互支援方法確立の計画についてですが、こちらで記載している相互支援の意図するところは公益の目的にもあるように災害時の相互支援が主力であると思います。J Cメンバーが相互の理解を深めるというのは有事の際の意思疎通の早さで意味はあると思うのですが、事業の協力というかたちより目的としなければならないのが、有事の際の相互支援に関しての方法の具体性が求められるのではないかと考えます。もし支援体制とか資料というかたちで何かを残すのなら、たとえばお互いの起きやすい災害について情報を持ち合うとか、そういった際にそれぞれのLOMとして実際にこのよう

な支援ができるとか、そういうような具体性があるものを残す必要があると思いますので検討していただければと思います。

<渡邊> 細かい所ですが、まず一点が中止の際に中止の連絡を回すという所ですが、4日になっていますが5日の間違いでしょうか。

<木村(武)> こちらは10月4日の視察のところですか。その中の開催前というところで10月2日と付け加えておきますのでここは10月4日で、次の開催というのが10月5日です。

<渡邊> もう一つ被災地視察のスケジュールの中ですが、アンケートを取らない理由という風に書いてありますが、アンケートは5日に取るのでここはどういうことなのかお聞かせください。質問です。議案の中の資料で10月4日のタイムスケジュールですが、こちらリンクは貼ってあるのですが、開くと被災地視察のタイムスケジュール一覧がでてきます。下の部分に※印で10月4日にアンケートを取らない理由をもう少し説明付けした方がいいと思います。

<木村(武)> 今のとおりで4日にはアンケートを取らない。視察の後のアンケートは取らないということになります。

<渡邊> 現地の状況を多くの人に知っていただきたくFacebookを利用すると書いてありますが、これは各自視察をした感想をアップしてもらい、確認はどのようにするのですか。

<木村(武)> いまの所確認は取ろうと思っておりません。これはアンケートではないので、Facebookの方で、視察をして各自想いがあれば、そちらの方を載せていただきこういう状況だということを宇都宮のメンバーから宇都宮にいる友人など、各地にいる友人に知っていただければと思い載せた次第です。

<渡邊> 意見ですが、やはりせつかく視察に行き現地の状況を多くの人に知っていただきたいということで現地に行くのであれば、ここはしっかりやった方がいいのではないのかと私は思います。

<豊崎> 先ほどのFacebookの話ですが、南相馬のほうを回るということならば、現状の視察、風化を防ぐためのFacebookアップということで実施されるということであれば何かテーマみたいなもの、たとえば津波で更

地になってしまった状態、あとは遺伝子であったり、被災した建物が残った状態、こういうテーマを掲げた物としてなにか委員会回りをされる時にテーマを落としてあげた状態でF a c e b o o kのアップに繋がれば、木村委員長が思い描いているようなかたちの中身を皆さんがアップできるのかなと思いますので、テーマを持たせてあげた方がよいかなと思います。

<鈴木(善)>宇都宮から子どもたちを連れメンバーに現地の状況を把握してもらおうということ、向こうにいる子どもたちが楽しく外でも自由に遊べるということをやりたいのだと思います。それでいいと思います。F a c e b o o kに関しては、色々と意見はあると思いますが、個人で自分の正直な気持ちをあげ、それを発信するということもよいと思うし、そうゆう所をふまえた上で色々な形でいいきっかけを作るうえですごくいい2日間になると思いますので、私からの意見としては、せっかくここまでの議案を作ったので、本年度の工夫と期待される効果を逆にもっといいかたちにして、工夫として載せるとよいと思います。期待される効果というのも絶対出てくると思うので、そこを書いていただきたいと思います。

<村上> 私の方からも目的の部分で少し気になるのが、手法ありきの議案になっている。やることは総会だから決まっているのですが、ただ目的の書き方をもう少し精査してほしいという部分と、目的の所に災害時に相互支援方法を確立するとあげており、先ほど福田副議長も少し触れていましたが、事業にも少し関連性がないといけないのかなというところと、合同正副でこの相互支援を確立する方法というのが参考資料に入っておりますが、目的に入っているのです。これは審議対象資料か、事業内容の方に書かれていないとだめと思うのです。公益事業というところで相互支援の確立をしないとけないというところになってくるわけですが、想定をしないとけないと思うのです。その地域だけじゃなく相互支援なので、宇都宮で災害があった時も支援をしてもらえるということになります。やはり宇都宮の過去にさかのぼり、災害が起りうるかということもしっかり調べた上で、会議でどういう風に確立をしていくのかという所まで、みえるかたちにしてほしいなと思います。

協-03 11月例会まちづくり事業開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、中島委員長より上程文の読み上げ

<中島(崇)>私から一点ですが、この議案の文章作成者自体は梅田副委員長だと思います。委員会の責任者なので中島委員長ができてきていると思うのですが、梅田副委員長が上程者じゃないというのは何か意図はありますか。

<中島(晴)>責任者として私が上程します。

<木村> 私の方で何回も読み直したのですが、もう少し揉んでから理事会に出すべきだと思います。率直な気持ちで思いました。自治会に対していうところも、79.8%の加入者をどう出すのか、回覧板という手法を使っていますが、そういう方が読むかどうか、まず読まないと思います。のゲストにしても過去の議案をみてきたのですが、ダニエルカールさんと涼風花さん。涼風花さんに関しては宇都宮市の魅力についてお話をいただきます。ですがこちらの方は日光市から22歳の時に東京へ出ておりますので、もう少し選定をし、宇都宮の魅力を伝えられるような、たとえば本当に自治会の参加者、実際79.8%加入者がいても実際参加している人数は20代、30代と、自治会に所属していればわかると思うのです。逆に市長とコミットして20代、30代の人となにか意見交換をすとか、もっとでてくるようなことを考えていった方がよいということもあると思います。そういったものも含め少し揉んでよい物を作った方が最後に達成感があるのかなと思いました。

<高松> 自治会とNPO、大学生、CSR企業の取り組みにたいしてのアワードだと思うのですが、自治会がやっていることに対してのアワードなのか、もしくは団体がやっていることに対してのアワードなのか、全部ひっくるめてその中でアワードにするのかという所をまず教えていただきたいと思います。その団体の方々が自治会と連携できる取り組みの手法ということで展示をされると思うのですが、今やっていることなのか、もしくはこういうことがこれからできますよということなのかを教えてくださいませんか。

<中島(晴)>アワードの形態ですが、部門として4つ、自治体部門、NPO、大学生部門、企業部門という形でそれぞれの部門ごとにアワードとして作る計画しております。2点目の質問になりますが、現在取り組んでいるところがあればそれを出していただき、またこういうことができますよだとか、学生さんは研究しているそうなので、提案型のパネル展示というところのアワードとさせていただきたいと思います。

<鈴木> 色々読ませていただき自治会というのが目に飛び込むのですが、回覧板を回

し、回覧板を使ってといいますけれど、私の経験上、わんぱく委員長をやらせていただいた時に、わんぱく相撲の案内を回覧板で回らせて欲しいと依頼をさせていただきましてところ発行部数50万部刷らないといけない、39自治体に対して約50万部の印刷物をかけなくてはいけないのですが、配布するとか、そのためには承認もえないといけないという形で、今はたとえば50万部だかはわかりませんが、その費用も考えてこの発想にいたっているのか、そこはしっかり相談ができているのかと、たとえばいつからいつまでにやったことに対してのアワードなのか、期限もない、では50年前に自治会がこんなすごいことをやったのかというアワードなのか、何月から何日まで行った部分のアワードなのかの記載など、細かい部分での詰めができていないのかなと私の中ではみるかぎりみえてしまう部分があるのでこれをもう一度精査していただければと思います。

<高松> 先ほど今やっている取り組みなのか、もしくはこれからやろうとしている取り組みなのか、どちらかというところだったと思うのですが、委員長の方でなにか事例か何かお持ちでいらっしゃいますか、実際こういう取り組みがあるのですけれどもみたいです^^

<中島(晴)> 現在調査中なのですが、現在NPO団体や自治会が連携してできていないというのが今の町づくりの現状でありまして、それを一つに纏めるといいますか、一つのまちづくりとしてのテーブルに乗せられるような意図で考えました。事例としてはみつかっていないのが現状です。

<高松> であればいま一度、自治会さんなり団体さんがどんな感じで取り組み何をやっていてこれから何をやろうとしているかをいま一度委員会の方でよく揉まれたほうがよいと思います。それを元に今回作られた議案で進めるべきなのか、もしくはまた違う内容にするのかを考えた方がいいのかなと率直に思います。というのも1000人程の動員を計画されていると思うのですが、1000人の動員は結構大変だと思うので、今の事業内容でみるとなかなか1000人は考えづらいのかなと思うのです。参加者が自治会連合会会長と連合自治会会長という人たちが来賓だと思うのですけれども、この方々に僕は会っているわけではないのでわかりませんが、僕が知っている数人の連合会会長というのはけっこうな年配で、60代とか70代とか結構なお年を召されている方なので、その方々がメインというよりもう少し若い方に動いていただいたほうが我々の委員長が思う意図する所に辿りつくのではないかなと思いますので、ご検討いただければと思います。

<木村> まちづくりアワードの内容について色々な所に自治会の加入のきっかけになるように参加をと書いてありますが、19%の未加入の方の参加を煽るような方法は何か考えているのでしょうか。

<中島(晴)>告知計画で若い人が集まりそうなコンビニエンスストアなどを中心にポスターを貼り、若い人来ていただけるような計画は考えております。

<木村(武)>私も自治会に参加して思うのは、未加入の方というのは旦那さんが仕事で、どうしても草刈りやゴミステーションの清掃などは主婦層が抱え込むのですが、そういった若い方は回覧板なり参加をピーアールしてもまず参加をしようと思わないので、そういう方が参加をするような仕掛けがこれまで以上に必要なのかなと思います。

<安野> 私がひっかかるのが何年か前に自治会を対象にした例会をやったことがあります。約700団体に出して反応が4、5団体しかなかったという事例がありますのでそこを掘り起こすのは結構骨だと思います。まだ間に合うのであればターゲットを替えるだとか委員会のほうで揉んでいただけるとありがたいと思います。

<鈴木(善)>事業目的の対外と対内の部分ですが、地域に住み暮らす市民の地域への帰属意識という部分で、全体的な議案のどの部分が帰属意識なのかを読み取れないと思うのですが、ここの目的に対しての目的達成の手法が統一されていないような気がします。そこがどう繋がってくるのか説明をいただければと思います。

<中島(晴)>帰属意識については自治会という身近なまちづくり団体というところをテーマに掲げたということで、自分の住み暮らすまちという部分から帰属意識の情勢に繋げていければと考えました。

<鈴木(善)>たとえば自治会とかでこんな形で素晴らしいことをやっているから宇都宮に帰っておいで、宇都宮にいても再確認していただくという形なのですね、質問です。

<中島(晴)>帰属意識の部分ですが、私が考えた帰属意識というのは宇都宮市民であり、例会を通して自分たちは宇都宮市民なのだと感じて貰うことが帰属意識の情

勢に繋がると考えております。

<木村(武)>最初の意見の補足ですが、常任理事会、理事会等の意見と対応をみていくと、常任理事会からもガラリと内容が変わったのがみえるのですが、この状態で8月理事会での審議に持っていこうと思っているのでしょうか、もう少し揉んだ方がよいと思います。

<中島(崇)>本当に色々なご意見いただいたと思いますので、もちろん予定しているとおりに審議を取りたい考え、計画があるのは存じておりますが、今一度時間はありますので再度委員会でご検討いただければと思います。

<村上> 私が気になる点だけお伝えします。自治会、学生、NPOというのを巻き込むというところは悪くないと思います。ただ自治会によつての温度差はかなりあり、意見にも出ていましたけれども本当にそのとおりで、ゴミステーションの掃除しかしない所もあれば、祭りとか子ども会を中心に活発にやっている自治会もありますので結局無関心層が多いのです。たとえばダニエルカールさんとか涼風花さんとかゲストが無関心層を呼べるかというところもあつたのかなというところもあると思います。よい話はしてくれるとは思いますが、その目的にいく前の目的は無関心層を集めることだと思ふのです。この事業の最大のポイントは、その無関心層に何かをみせる事により俺らも宇都宮のまちづくりと一緒にやらないといけないなという気持ちで、たとえば自治会活動に積極的になつたりであつたり、色々な町づくりに参画していく、繋がっていくのだと思ふのです。これは表面的にみると自治会に加入促進運動にみえなくもないので、それはJCでやるべき事でもない。それは自治会がやればよいことで、結果的に相互作用が生まれ加入が増えるのはよいことだと思ふのです。あとアワードについては権威付けも必要かと思ふます。たとえばパネル展示だけをして先行するのであればパネル展示はみんなみないです。JCとかでもパネル展示はよくやり、全国大会やサマーコンファレンスも、かなり意識の高い人でないとみません。それであれば無関心層を集める仕掛けを作つた上で、プレゼンテーションでみせた方が強制的に入ってくるし、その仕組みのほうが効果があるのかなと思ふので、そういったことも検討して欲しいということと、たとえばその賞に権威付けをするのであれば宇都宮市民賞とか宇都宮市長賞とか、なにかそんな権威付けができるような物にしたらいいなかなというふうに思ひました。無関心に関心に変えて、関心を意識に変えるわけですから、そこを広い視野でみていただければいいのかなというふうに思ひます。

協-04 7月新入会員件証（案）について

協議資料に基づき、高松副議長より上程文の読み上げ

<村上> しっかりフォローをしながらみんなでビジターを呼んで入会をしていただくように推進をしてみたいと思います。

審-01 7月新入会員認証（案）承認の件

審議資料に基づき、高松副議長より上程文の読み上げ

15. 報告事項

報-01 対外出向者について

関東地区協議会専務理事 須山

先日のサマーコンファレンス内で第2回の会員会議所会議を行わせていただきました。次年度の関東地区協議会の会長、そして来年の三浦JCが地区大会に対して立候補して収支補正予算、常総JCが名称変更ということで、南茨城JCと名称を変えるという4つの案件の審議をいただきました。第一回目の会員会議所は少し京都会議に置いては不手際が色々あってなかなか不慣れな点がありましたが、今回におきましては事務局のみんなも成長いたしまして、お褒めの言葉も色々いただきました。出向に対してのご支援をいただいているおかげというふうに思っております。残り半年となりました。山本会長を支えるべく事務局はこれからも一生懸命やっていきたいと思っておりますので、どうぞ引き続きよろしくをお願いします。

日本青年会議所 相互理解確立委員会総括幹事 金

理事会構成メンバーの中では渡邊副議長に出向していただいております。我々の相互理解確立委員会では年間を通して60回の相互理解プログラムを国内外で実施していくというミッションがございます。現在約半年がたちまして、約30回の実地をさせていただいております。またこの宇都宮の地でも数回の実地をさせていただいております。皆様にもご協力をいただきありがとうございます。4月のホノルルの事業におきましても実施

をさせていただきましたし、メンバーの中で分担して一人ひとりの役割を実施しております。渡邊副議長を含めメンバーにもプログラムのトレーナーとして担っていくことで、多くの気づきや経験を経ていると感じております。残り半年となっておりますが皆様のご支援、ご協力をお願いしたいと思います。

日本青年会議所 総務委員会副委員長 梅田

昨日のサマーコンファレンスでは本当に皆様お疲れさまでした。僕も皆さんと一緒に遊びに行きたかったのですが、総務委員会というのは設営、設営、設営ばかりで裏方に徹して皆さんと同行することができませんでした。少しでも宇都宮 J C を全国の J C に知っていただくと思って一生懸命やっております。そんな中、懇親会に理事長と事務局長の二人におこしいただき涙が出るくらい本当に感動して嬉しかったです。10月には松山全国大会があります。理事会構成メンバーの皆様には一人でも多くの委員会メンバーに動員をかけていただいて、この宇都宮 J C の元気のある所を他の L O M に知っていただきたいなと思いますのでよろしく申し上げます。

日本青年会議所 全国大会運営会議 山田

第5小会議といたしましては、全国大会に付随する大きなミッションがいくつかございました。その中でも対話集会在大きなミッションでございました。3月に広島で広島 J C との対話集会を無事終了いたしまして、4月には八戸市にて八戸 J C さんとの対話集会、そして7月には埼玉市におきまして埼玉中央 J C の皆様との対話集会、そして先日のサマーコンファレンスにおきましては全国大会主幹セミナーの開催をさせていただきました。その対話集会とセミナーが終わり、残すところ第5小会議の担いといたしましては、本大会における木曜日の開会式ならびにウェルカムレセプションが担当内容となっております。また7月1日の対話集会ならびにサマーコンファレンスでの主幹セミナーでは、理事会構成メンバーの皆様を中心に多くのメンバーの皆様の参加、またオブザーブをいただきまして誠にありがとうございました。今後は8月、9月残すところ2回の全体会議、そして9月の日本 J C の常任理事会の前段で7月1日埼玉中央 J C の対話集会の報告を、小瀧副議長を中心に行います。そして、最後には10月9日、10日、11日、12日の4日間、全国大会が開催されますので、皆様方にはご登録をいただきまして、是非ご参加をいただければと思います。

栃木ブロック協議会副会長 高松

半年の活動報告ということで、先ほどの山田副議長のように盛りだくさんの活動内容がございません。半年間各 L O M にお邪魔をいたしまして、懇親会を開催しておりました。澤畑監事にも一緒に参加をしていただいております。ただこの担当委員会はこれから忙しくなっていくのですけれども、直近でいきますと7月30日にホテル丸治様の方で真岡 J

Cの塚本先輩をお呼びして研修をやり、最大の発信の場といわれております栃木フォーラムというのが8月31日の日曜日に佐野市民会館というところで開催をします。講師の方がメインフォーラムで来ると担当委員会からは聞いております。私ども担当委員会はパネル展示をやることになっておりまして審議をいただいているのですけれども、非常に意識の高い方がみに来ていただけるのだろうなと思っております。みなさん大変お忙しいとは思いますが、場所も近いので何卒ご参加をお願いしたいと思っております。

報-02 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-03 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)> ご一読ください。

報-04 会費納入状況について

<宮林> ご一読ください。

報-05 年会費未納者の報告について

<宮林> 年会費未納者の報告についてですが、お手元の紙資料をご覧ください。会費未納者の名前が記載されています。督促状でございますが、7月の29日の発送の予定となっております。理事会構成メンバーの皆様にはこの未納者について確認していただき、もし誤りがございましたら廣田議長までご連絡いただければと思います。督促については定款ならびに会員資格規定に基づく督促でございます。除名的前提となっておりますので、是非担当の委員長の皆様からお声掛けしていただければと思っております。

報-06 特別会員入金状況について

<中島(崇)> ご一読ください。

報-07 例会出欠報告について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-08 ビジター報告について

<太城> ご一読ください。

報-09 ビジター名簿について

<太城> ご一読ください。

報-10 2015年度理事当選者について

<高松> ご一読ください。

報-11 次回開催について 8月27日(水) 19:00～ コンセーレにて開催

16. 監事講評

<黒川>

まずは総務委員会の皆さん、渉外委員会の皆さん、本日の設営本当にお疲れさまでございました。本日の理事会拝見させていただきまして、協議案件3件、新入会委員と合わせて4件、3件の事業案件がございました。まずは来月に迫りましたふるさと宮まつり、総会後に審議ということで議案の中身は大丈夫だと思うのですが、来週最後の出向者会議があると思いますので、しっかりと各委員会の落とし込みを行い当日に備えていただきたいなと思います。続いて10月心のふれあい事業、木村委員長本当にお疲れさまでございます。本日も少し細かいところの意見はあったと思いますけれども、もう少しそういうところを詰めていただいて、だてJCさんとも共同連携ですから関係を深めていただいて、また前日下見に行くということですので、本当に危険なエリアもあると思うので誤ってそういう所に入ったりしないよう是非体に気をつけて事業の準備をしていただけたらと思います。

そして11月のまちづくり事業、中島委員長、いま一度冷静に議案をみつめ直していただいて、町づくり事業ですのもっと前向きに考えていただいて、準備していただければと思います。また審議案件で3名の新入会員がありました。本当に高松副議長、この三人の新入会員の方々をお願いします。大変経験ある方だと思いますので、その経験をこの拡大のメンバーに伝えていただければと思います。また会費未納者がいるということで、ここにいる理事会構成メンバー各自が声掛けを行い、会費は義務で社会人としての恥ずかしいところだと思いますので、そこは理事会構成メンバーが委員会メンバーに落とさせていただければと思います。最後に今日は遅参者が多かったですが、日にちと時間と前々からわかっていることですので、今後このようなことがないようにしていただきたいなと思います。またネームプレーとバッジ等もちゃんとするようにお願いします。

17. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第7回 理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成人：総務委員会

議事録署名人：村 上 正 高
黒 川 崇
飯野 貴道
澤畑 敦史